

商品名 HMG注射用150IU「フェリング」 医薬品基本情報

薬効	2413 性腺刺激ホルモン製剤	一般名	ヒト下垂体性性腺刺激ホルモン150単位注射用
英名	HMG Ferring	剤型	注射用
薬価	1464.00	規格	150単位1瓶（溶解液付）
メーカー	フェリング・ファーマ	毒劇区分	

HMG注射用150IU「フェリング」の効能・効果

(下垂体性無月経、視床下部性無月経、間脳性無月経)の排卵誘発、生殖補助医療の調節卵巣刺激

HMG注射用150IU「フェリング」の使用制限等

1. 子宮性無月経、下垂体腫瘍、頭蓋内に病変、無排卵症以外の不妊症、甲状腺機能異常による無月経、副腎機能異常による無月経、原発性卵巣不全による尿中性腺刺激ホルモン分泌の高い、原発性卵巣不全、妊娠に不適切な子宮筋腫、妊娠不能な性器奇形、妊娠に不適当	記載場所	効能・効果
	注意レベル	禁止
2. 子宮内膜癌又はその恐れ・疑い、乳癌又はその恐れ・疑い、エストロゲン依存性悪性腫瘍又はその恐れ・疑い、卵巣腫瘍、多嚢胞性卵巣症候群を原因としない卵巣腫大、活動性血栓塞栓性疾患、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
3. 児を望まない第2度無月経、多嚢胞性卵巣	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
4. 卵巣過剰刺激症候群の既往、多嚢胞性卵巣症候群、卵巣過剰刺激症候群のリスク因子を有する、やせ、血清エストラジオール高値、血清抗ミュラー管ホルモン高値、発育卵胞数高値	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
5. 下垂体腫瘍、甲状腺機能低下、高プロラクチン血症、副腎機能低下、視床下部腫瘍	記載場所	効能・効果
	注意レベル	注意
6. 未治療の子宮内膜増殖症、子宮筋腫、子宮内膜症、乳癌の既往、乳房レントゲン像に異常、乳房結節、乳腺症、乳癌家族素因が強い、血栓塞栓症発現リスクが高い	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

HMG注射用150IU「フェリング」の副作用等

1. 卵巣腫大、下腹部痛、下腹部緊迫感、腹水、胸水、呼吸困難、卵巣過剰刺激症候群、卵巣破裂、卵巣茎捻転、脳梗塞、肺塞栓、血栓塞栓症、肺水腫、腎不全、重度卵巣過剰刺激症候群	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 過敏症、発赤、発疹、ほてり、疼痛、悪心、頻尿、しびれ感、頭痛、浮腫、尿量増加	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 卵巣腫大	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
4. 脳梗塞、肺塞栓、血栓塞栓症、重篤な卵巣過剰刺激症候群、卵巣過剰刺激症候群、下腹部痛、下腹部緊迫感、悪心、腰痛、急激な体重増加	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

HMG注射用150IU「フェリング」の相互作用

- 薬剤名等：排卵誘発に使用する薬剤

発現事象	卵巣過剰刺激症候群	投与条件	-
理由・原因	卵巣への過剰刺激に伴う過剰なエストロゲンにより、血管透過性が亢進	指示	注意

- 薬剤名等：卵胞の最終成熟に使用する薬剤

発現事象	卵巣過剰刺激症候群	投与条件	-
理由・原因	卵巣への過剰刺激に伴う過剰なエストロゲンにより、血管透過性が亢進	指示	注意

